11月27日（金曜日）「偽りはわざわい」

【新改訳 2017】

使徒　5•1-11

「ところが、アナニヤという人は、妻のサッピラとともに持ち物を売り、妻も承知のうえで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。」（1、2 節）

よく知られているアナニヤ夫婦のごまかし事件の記事の最初の部分です。

このころの初代教会には、先にも学んだように、特別に導かれて「すべてのものを共有にして」いた時がありました。自分の物を売ったのですから、どれだけささげるかは自由のはずですが、この時は、皆が同じように全部の代金を持ち寄ったのに、アナニヤ夫婦は共謀して、一部を残し、あたかも全部であるかのように偽ったのでした。

神は、この偽りを断罪されたのです。それは、使徒たちや同志を欺いただけではなく、聖霊を欺き、神を欺いたこととして、さばかれました。意図的な偽りやごまかしは、自分にも周囲にもわざわいです。この罪を犯すことのないように祈らなけれ

ばなりません。

～祈り～

主よ。弱い者ですから、あわれんでください。どうか偽りの罪を犯すことのないように、また、隠れた罪を犯すことのないように守ってください。

【学びのために】

ヨシュア 7 章（2 月 27 日）参照。